

**「第4次千葉県青少年総合プラン計画案」
に関する意見の概要と県の考え方について**

千葉県環境生活部県民生活課

1 パブリックコメントの実施期間

令和5年2月13日（月）から令和5年3月6日（月）まで

2 意見提出者数・意見の延べ件数 2名（個人2、法人・団体0）・9件

3 提出された意見の概要と県の考え方

※提出された意見について、趣旨を損なわない範囲で要約させていただきました。

御意見の概要	県の考え方
（1）第1章 計画の概要	
計画策定の趣旨の冒頭、「千葉の未来」を「次代の社会」と訂正してほしい。 （理由） ・「千葉」に拘泥するのはよくない。考えが狭すぎる。「千葉の未来」という言い方は「大人」の論理の押し付けである。ちなみに最近の若者は「未来」という言葉が苦手（嫌い）だと言われます。当事者である若者の心に響く言葉を選んでほしい。 ・国の「子ども・若者育成支援法」第一条（目的）は、「この法律は、子ども・若者が次代の社会を担い、」と謳っている。	本プランは、「千葉県総合計画」を踏まえて策定しており、総合計画においては、10年後の「基本目標・目指す姿」の一つとして、「子どもの可能性を広げる千葉の確立」を掲げ、「全ての子どもに明るい未来が広がっている」「一人一人の可能性を広げ、社会で活躍できる人材を育成する」こととしていることから、御指摘を踏まえ「計画策定の趣旨」中の「千葉の未来」の表記について、「次代」と表記することとしました。
（2）第2章 計画の基本的な考え方	
「理想の子ども数及び予定子ども数の減少」の項目は削除すべきである。「子ども数」についてふれること自体、家庭への干渉であり、若者支援策とは関係ない。下のグラフも削除すべきである。若者支援策とは関係ない。「平均・・・上位にあることから」の2行分は削除すべき。 2行目終わり～3行めの「子育てに対する経済的負担の軽減や働きながら生み育てやすい環境づくり」については残してもよいと思う。むしろその支援策を具体的に検討し示すべきである。	県では、「千葉県総合計画」の「基本目標・目指す姿」において、「誰もが希望通りに妊娠・出産・子育てができる千葉」を掲げています。こうした中、御指摘の課題については、理想の子ども数と平均予定子ども数の推移や乖離状況を確認するとともに、乖離している原因等を把握し、これを解消するために必要な施策を明らかにするため、課題として取り上げているところです。 このため、この課題認識がわかりやすくなるよう、御指摘の箇所について「平均理想子ども数及び平均予定子ども数はともに減少傾向にあるとともに、依然平均予定子ども数が平均理想子ども数を下回る状況にあります。また、「理想の子ども数を持たない理由」として経済的負担や育児や仕事の両立が難しいことなどが上位にあることから（後略）」と修正するとともに、乖離している原因について、新たに国の調査結果を掲載します。

御意見の概要	県の考え方
	<p>なお、「基本方策⑩子どもを育てる環境の整備」に子育てに係る経済的負担の軽減や働きながら生み育てやすい環境づくり等の具体的な施策の展開を盛り込んでいます。</p>
<p>「若者の早期離職」の項目に「早期離職を防ぐため」の「就労支援」が取り上げられているが、同時に離職後の再就職に向けた就労支援について、課題と方法についてふれるべきだし、具体的施策を検討すべきである。「ニート」「引きこもり」に限定せず、多くの離職者を対象として就労支援策を県が検討し、施策として実行すべきである。</p> <p>若者の就労支援にあたっている地域の若者支援団体やNPO等について県が連携し、交流の機会をつくるとともに、活動の助成を行ってほしい。</p>	<p>離職後の再就職に向けた就労支援に係る課題について加筆します。</p> <p>具体的な施策については、「基本方策⑥職業能力の習得／就労支援の充実」の主な施策の方向性「(2) 若者の就労支援」及び「基本方策⑧様々な困難や配慮を要する状況に応じた支援の充実」の主な施策の方向性「(5) ひきこもりに対する支援」「(6)ニートに対する支援」に施策の展開を盛り込んでいます。</p> <p>また、千葉県若者自立支援ネットワーク協議会において、県が運営する若者向け就労支援施設の「ジョブカフェちば」や、地域若者サポートステーション、NPO法人、関係機関、団体と連携し、若者の就職等を支援しています。</p>
<p>(1) 子ども・若者の健やかな成長と社会参画の促進の項目に記載の「…心身共に健やかに生まれ育ち、幸せを…」の「生まれ」を削除すべき。</p> <p>(理由)</p> <p>「心身共に健やかに生まれ」となると、生まれながらの障害・ハンデ等を想起させ、本人、親を含む家族に心理的苦痛をもたらす。その意味で不適切であるし、必要ない。</p>	<p>御意見を踏まえ、修正します。</p>
<p>(3) 第3章 施策の展開</p>	
<p>「若年層においては、朝食を欠食する…ライフスタイルの多様化に伴う食生活の乱れ」とあるが、朝食が摂れない若年層の実態が触れられていない。経済的困窮世帯、家庭環境の複雑さ等から、朝食を摂れない高校生が2～3割いる。特に定時制高校においては、1日2食以下の生徒が半数以上に上る。こうした実態を丁寧に把握し、食をはじめとした対策を実行すべきである。まずは、高校生の昼食時の給食、夜間定時制高校の給食の再開を実施すべきである。</p> <p>地域の若者支援団体やNPO等が連携して高校生への食支援を行っている。本来自治体が行うべきものである。当面、食支援への補助や全県での広報を行うべきである。</p>	<p>本項では、全ての子どもたちが基本的な生活習慣を形成し、健康を確保するための課題として、朝食の欠食を例示しています。経済的困窮を理由に基本的な生活習慣を形成することが困難な子どもについては、「基本方策⑩子どもの貧困対策の推進」に、現状と課題として、生活の安定に資するための支援が必要であることを記載し、施策の方向性として、食・住生活の支援を盛り込んでいます。</p> <p>また、給食については、学校給食法に基づき、義務教育諸学校においては、その設置者が学校給食が実施されるよう努めているものです。なお、夜間定時制高校については、給食に代わる夕食を提供し、夕食費の一部を補助しており、生徒の要望を集めて業者と協議したり、各校に</p>

御意見の概要	県の考え方
	<p>好事例等を周知し、利用率の向上に取り組んでいるところです。</p> <p>いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
<p>「(1) 基本的な生活習慣の形成」とあるが、「基本的な生活習慣」の問題ではなく、子ども・若者の貧困問題としてとらえ、食を中心とした貧困対策を県が実施すべきである。</p> <p>「早寝早起き朝ごはん」国民運動は止めるべきである。「朝ごはん」を用意できない家庭の事情をしっかりと把握すべきである。こうした「運動」が子ども・若者間の差別を助長することになる。子ども・若者・家族等の心情に配慮すべきである。</p>	<p>経済困窮世帯をはじめ、社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者及びその家族に係る現状と課題及び支援策については、「Ⅱの柱様々な状況下にある子ども・若者への支援と非行被害防止」に整理しています。</p> <p>「早寝早起き朝ごはん」国民運動は、子どもの生活習慣づくりについて、社会全体の問題として子どもたちの生活リズムの向上を図っていくため、文部科学省が推進している取組であり、同趣旨に基づき、取組を実施しているところです。なお、いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
<p>主な施策の方向性「(4) 防災教育の推進」の項目で、学校が災害時の避難所として果たす役割、避難所運営のあり方について研究・検討することについてふれてほしい。</p> <p>避難場所・避難所として指定されている・いないに関わらず、すべての学校を対象に、地域の防災拠点として果たす役割の検討・確認、条件整備をはかるべきである。</p>	<p>地域と連携した防災体制の一層の充実を図るため、避難所運営訓練等の実践に取り組んでいる防災教育の推進モデルとなる地域及び拠点校がありますが、本項は、子どもたちに対する防災教育の推進に係る施策を盛り込んだ項目となっています。このため、学校の災害時における役割等については、趣旨が異なります。</p> <p>すべての学校を対象に、地域の防災拠点として果たす役割の検討・確認、条件整備をはかるべきとの御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
<p>家庭に余裕がなく支援が必要な家庭ほど支援の手を差し伸べることができず、有効な手立てをとることができていない。</p> <p>こうした家庭では、成長過程において、様々な経験を得ることができず、「体験格差」の問題が生じている。体験格差は学習の定着度の差にもつながっていると感じている。</p> <p>家庭での体験格差は学校ではフォローしきれず、学校において、体験活動を充実させても、格差が広がると感じる。</p>	<p>県では、全ての子どもを対象として、地域住民等の参画を得て、多様な学びや体験活動等を行う「放課後子供教室」を実施する市町村を支援するなど、学校外における子どもたちの体験活動の充実を図っているところです。</p>
<p>主な施策の方向性「(2) 地域とともにある学校づくり」の項目に「全ての子どもを対象とした安心・安全な活動拠点(居場所)…」とあるが、対象は「全ての子ども」であるとしても、参加はあくまで任意にしてほしい。</p>	<p>参加は任意となります。</p>